

回復期リハビリテーション病棟の実績報告

社会医療法人 仁厚会 米子東病院
院長 森尾 泰夫

ア. 直近3か月間の退棟患者さんの区分別内訳について

算出期間		令和6年10月1日 ~ 令和6年12月31日
当該期間の退棟患者数 (①+②+③+④+⑤+⑥)		56名
(内訳) ①	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後若しくは手術後の状態又は義肢装着訓練を要する状態	24名
②	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の骨折又は二肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態	32名
③	外科手術又は肺炎等の治療時の安静により生じた廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態	0名
④	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後の状態	0名
⑤	股関節又は膝関節の置換術後の状態	0名
⑥	これらに準ずる状態	0名

※ 基本診療料の施設基準等別表第九の二に掲げる回復期リハビリテーションを要する状態の区分。

イ. 実績指数について

算出期間		令和6年7月1日 ~ 令和6年12月31日
①	前月までの6か月間に回復期リハビリテーション病棟を退棟した回復期リハビリテーションを要する状態の患者数	105名
②	①のうち、実績指数の計算対象とした患者数	72名
③	②の患者さんの退棟時のFIM得点(運動項目)から入棟時のFIM得点(運動項目)を控除したものの総和	1603点
④	②の各患者さんの入棟から退棟までの日数を、当該患者さんの入棟時の状態に応じた回復期リハビリテーション病棟入院料の算定日数上限で除したものの総和	42.79
⑤	実績指数 (③/④)	37.46点

※ 『実績指数』とは、平成28年度診療報酬改定で導入されたアウトカム評価のための指数です。

※ 平成28年4月1日以降に回復期リハビリテーション病棟に入院した患者さんが対象です。

※ 『FIM』とは、機能的自立度評価表(Functional Independence Measure)の略で、実際の日常生活動作(ADL)を評価する方法です。全18項目を介助量に応じて7段階で評価します。

項目の内訳は、運動項目(食事、更衣、トイレ、身支度など)が13項目と認知項目(言葉の発音・理解、社会的交流や記憶など)が5項目となっており、最高点は126点、最低点は18点です。

令和7年1月1日現在